

和歌山県景観資源登録 第1号

「かめや（日本画家 野長瀬晩花の生家）」（田辺市中辺路町近露1129番地）

和歌山県景観資源登録

良好な景観の形成に寄与している建造物や樹木、眺望点などを、和歌山県景観資源に登録し、保全や活用を図る制度

(和歌山県景観条例第10条)



田辺市中辺路町近露は、かつては熊野参詣道の宿場町として栄え、近露王子跡や牛馬童子といった史跡等が点在し、参詣道の歴史が色濃く残る地域です。また、周囲は山に囲まれ美しい川が流れている等、里山の景観が形成されています。

「かめや」は、明治初期から中期に建築され、築百年を超えた木造家屋であり、宿場町の旅籠を営んでいた歴史や、日本画家野長瀬晩花の生家として長く地域住民に親しまれてきました。また、周辺の里山の景観と調和した建築物で、近年、住民主導での保存と活用が積極的に行われています。

このたび、近露の良好な景観の形成に寄与している資源として推薦を受け、関係市の田辺市、和歌山県景観審議会（会長：東京大学先端科学技術研究センター所長西村幸夫教授）の意見をいただき、和歌山県として景観資源に登録するにふさわしい建築物であることから、平成25年7月7日付けで、和歌山県景観資源第1号として登録しました。

